

# 平常時・豪雨時を問わず、自分から積極的な情報収集を 防災気象情報をうまく活用!!

災害の危険が高まり、避難勧告など発令の段階となる場合には、防災行政無線、町ホームページ、防災メールまもるくん、緊急速報メール(避難勧告以上)など複数の情報伝達方法により町民の皆さまへ情報をお伝えすることとしています。

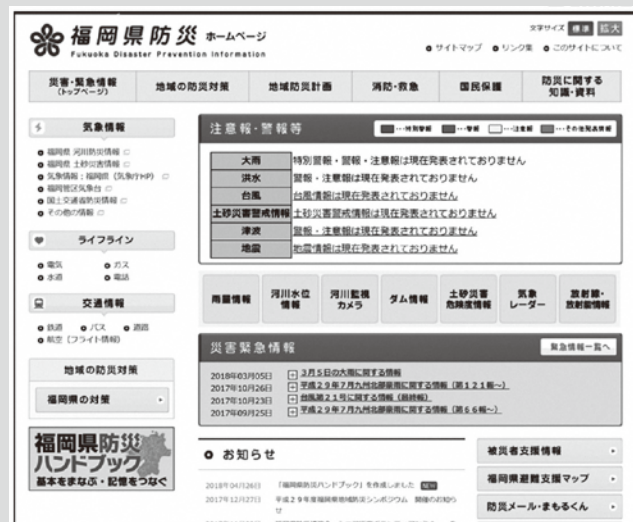
しかし、自らの身を守るためには、いざという時必要な情報を入手できることが大切です。そのためには、平常時から防災気象情報の収集方法を確認し、非常時に活用できるように備えることが大変重要です。

## 福岡県防災ホームページ

<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>

## 福岡県防災ホームページ

<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>



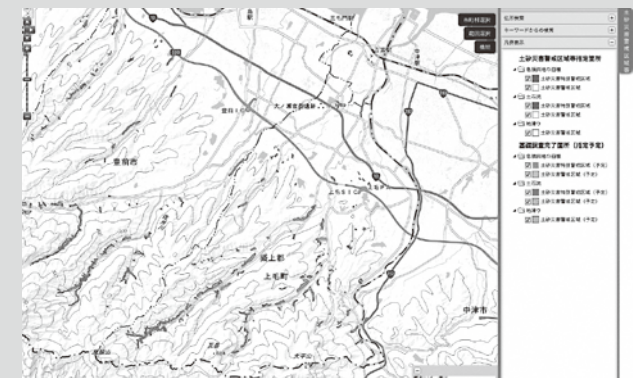
## 福岡県防災課ホームページ

<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp>



## 土砂災害警戒区域図

<http://www.sabomap.jp/fukuoka/>



## 土砂災害危険度情報

<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/>



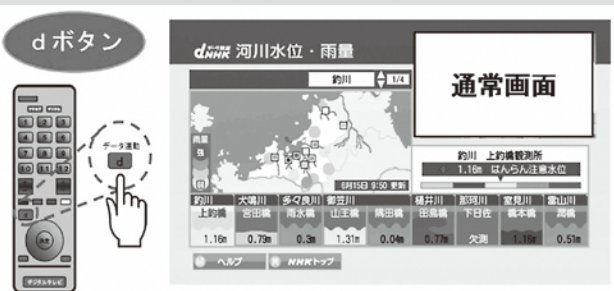
## 河川防災情報

<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>



## 地上デジタルテレビ放送

- リモコンのdボタンでデータ放送画面を表示
- 上下左右ボタンで見たい観測所を選択して表示



# 出水期を迎えるにあたって

いざという時に慌てず行動が取れるよう、防災情報を正しく認識し、指定避難所及び避難経路の確認や避難に必要なもの(防災グッズ)などについて、家庭で話し合い備えることが大切です。

平成29年7月の九州北部豪雨に続き、昨年も「平成30年7月豪雨」※に代表されるように、1時間降雨量50mmを越える豪雨が西日本を中心に頻発し、100mmを越える集中豪雨も発生しました。特に7月5日から8日にかけて、梅雨前線が西日本付近に停滞し、そこに大量の湿った空気が流れ込んだため、西日本から東海にかけて大雨が連日続き、多くの地点で48時間、72時間雨量の観測史上最大値を更新するなど記録的な大雨となりました。「平成30年7月豪雨」全体では、死者数200人超、住宅の全壊6000棟を超えるなど甚大な被害が発生し、平成の豪雨災害としては初めて死者数が100人を超え「平成最悪の水害」となりました。

上毛町においても、2年連続で大雨特別警報(土砂災害)が発令されるなど、いつ災害が起きてもおかしくない状況となり、人的被害などはなかったものの、一部道路の損壊、農地災害などの被害が発生しました。

※「平成30年7月豪雨」  
6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で記録された台風7号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨

# 避難勧告等に関するガイドラインの改定 逃げ遅れゼロへ! 警戒レベル4で全員避難!!

2019年の出水期から、「警戒レベル」を用いた避難情報が発令されます。「警戒レベル③、④」が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

危険を感じる場合などは、自らの判断で早めに避難することも重要です。



避難情報			国や県が出す防災気象情報
警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報・大雨特別警報など
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報・土砂災害警戒情報など
警戒レベル 3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報・洪水警報など
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

上毛町が発令

気象庁が発表